

2034 2025▶2029
ビジョン

だい じ さつ ま せんたい し そうごうけいかく ぜん き き ほんけいかく
第3次 薩摩川内市総合計画 前期基本計画



かごしまけん さつませんだいし
鹿児島県薩摩川内市

総合計画ってなに？

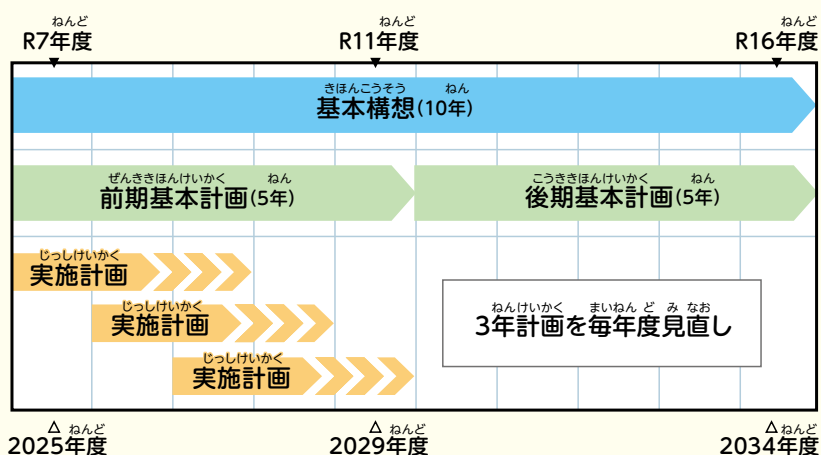


さつませんだいし
薩摩川内市
かんこうぶつさん
観光物産キャラクター
さいごう
西郷つん

薩摩川内市に住む人みんなが、安心して住み続けることができるように、まちづくりの方向性をまとめたものを「総合計画」と呼んでいます。この計画では市内で生活している人たちなど、みんなで見を出し合って、薩摩川内市の10年後の「未来のまちの姿」を考えました。

この計画では、「未来のまちの姿」の実現に向けて、みんなで取り組むことをまとめています。世の中のデジタル化が進むなど、社会のうごきがかわっていく中で、時代の流れに乗りながら、さまざまなまちの課題を解決していくための計画です。

計画期間

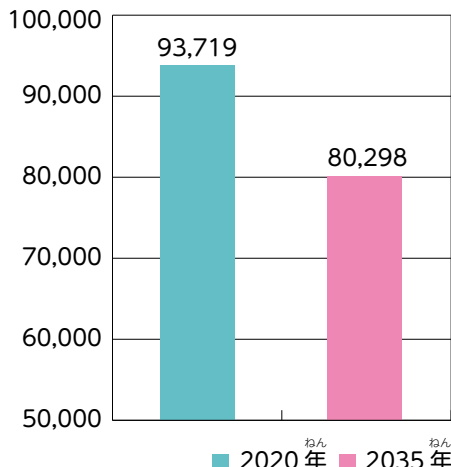


薩摩川内市にどれくらいの人がいるの？



薩摩川内市では、令和2(2020)年時点で93,719人が暮らしていますが、人口は今後も緩やかに減り続け、令和17(2035)年には総人口が約8万人まで減ると予測(※)されています。

(単位：人)



この15年間で約14.3%の人口が減ると予測されています

※(令和5年) 国立社会保障・人口問題研究所の試算による。

人口減少が進む中、みんなが住み慣れた地域に住み続けることができるよう、この総合計画に沿って、地域の個性を活かした取り組みを進めていきます。

これからどんなまちにしていけるの？



薩摩川内市が「目指すまちのイメージ」を考えて、それが実現した10年後の「未来のまちの姿」を思い描きました。

未来のまちの姿

人が繋がり 人が輝く

安らぎと賑わいのまち 薩摩川内

目指すまちのイメージ

- <繋>つながる 世代を超えて繋がっている
- <輝>かがやく お互いに認め合い輝いている
- <安>やすらぐ 誰もが安心して暮らしている
- <賑>にぎわう 新たな交流が生まれ賑わっている

「目指すまちのイメージ」で使った漢字をつなぎ合わせて「未来のまちの姿」を思い描いています。

SDGs（持続可能な開発目標）ってなに？



SDGs（エスディージーズ。Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで話し合いが行われた2030年までに達成すべき「持続可能な開発目標」のことで、全部で17の目標が設定されました。

これは、豊かな生活と環境とのバランスを考えながら、「人間がずっと地球に住み続けられるように開発・発展するにはどうしたら良いだろう？」と世界のみんなで考えた目標です。

この総合計画も、SDGsのこと、そして、これからの時代を生きるみんなのことを考えながらつくりました。



薩摩川内SDGsチャレンジロゴマーク

市をかたちづくる歴史・生物・地形・活動といったモチーフをひとつの円でとりまとめて、市全体が調和しながらSDGsの達成に向けて取り組んでいくことを表現しています。

6つの取り組み ～未来のまちの姿の実現に向けて～



「未来のまちの姿」の実現に向けた取り組みについて、6つの分野に整理しています。それぞれの分野において、今の課題を解決できる方向性を考えて、目標達成に向けて取り組んでいきます。

1. 共生と多様性で輝くまち 【コミュニティ・都市経営】

● コミュニティ

- ・みんながいろいろな生き方を選択でき、地域の人たちが元気で魅力的な地域づくりができるように取り組みます。

● 未来ビジョン

- ・市の各エリア（7ページの地図のとおり）で目指す方向性の実現に向けて、見直しも行いながら、取り組みを進め、住み慣れた地域に住み続けるための仕組みをつくります。
- ・市民・事業者、地域、学校と協力して、SDGs・カーボンニュートラルの達成に向けた取り組みを進めます。
- ・みんなが欲しい市の情報を、求める人に合わせた方法で分かりやすく発信します。

● 行政マネジメント

- ・みんなの税金が大切に使われるように、計画的なお金の使い方を考えたり、市の施設の適切な利活用を行ったりします。

● スマートDX

- ・さまざまな分野のデジタル化により、多くのサービスが便利となり、情報格差を感じない社会を目指します。



2. 安全・安心なまち 【市民安全・消防】

● 市民

- ・便利な市役所となるように、市民目線を重視したサービス提供に取り組めます。
- ・一人ひとりが大切にされる社会に向けて取り組みます。
- ・みんなが「自然を大切にしよう」と思い、ごみを減らすなど、自然を守り続けることができるよう取り組みます。



● 防災・消防

- 交通安全や消防の活動などを行い、みんなが安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。

3. 健やかに暮らせるまち 【保健福祉】

● 保健

- 健康について、みんなが考えられるような取り組みを進めるほか、住み慣れた地域で健康で生き生きと暮らしていくことができるように、医療体制の強化に取り組めます。

● 福祉

- 全ての人が困りごとを気軽に相談できるような体制づくりに取り組みます。
- 障害のある人もない人も住み慣れた地域で豊かに暮らすことができ、高齢者が生きがいを持って、健康に安心して暮らせる環境づくりを進めます。
- 子どもを安心して産み育てることができる、子育てしやすい環境づくりに取り組みます。



4. 次世代につなぐ教育のまち 【教育】

● 教育

- 子どもたちの快適な教育環境を整えます。
- 家庭・地域・学校が協力して子どもたちに寄り添って、誰一人取り残さない教育をすることで、「未来をたくましく生きる力」を育てます。
- みんなが地域の歴史や文化を身近に感じて、愛着を持ち、次の世代につないでいけるよう取り組みます。



5. 活力と賑わいを生み出すまち 【産業・シティセールス】

● 農林水産

- ・農業・林業・漁業などに取り組んでいる人々たちを応援し、働く人の確保の支援をしたり、魅力的な商品をつくったりできる取り組みを充実させます。



● 商工観光

- ・市民みんなでシティセールス（市のPR活動）に取り組むほか、地元の企業を応援したり地域の特色を活かした新たな仕事を応援したりすることで、働く場や働き手の確保につなげます。
- ・バスや電車などが利用しやすいまちづくりに取り組みます。

● 文化・スポーツ

- ・みんなが地域の文化や芸術にいつでもふれ合い、親しめるような取り組みを進めます。
- ・みんなが気軽にスポーツを楽しむことができるような環境を整えます。

6. 社会を支える快適なまち 【建設・水道】

● 建設

- ・道路や橋などをつくったり、修理したりすることで、みんなが安全に移動できるまちをつくりまします。
- ・きれいな景色があり、みんなが気軽に使える公園などがある、魅力ある住みよいまちづくりに取り組みます。
- ・みんなが安全・安心に暮らせるように、誰も住んでいない空き家に関する制度をお知らせしたり、活用を進めたりします。



● 水道（上下水道）

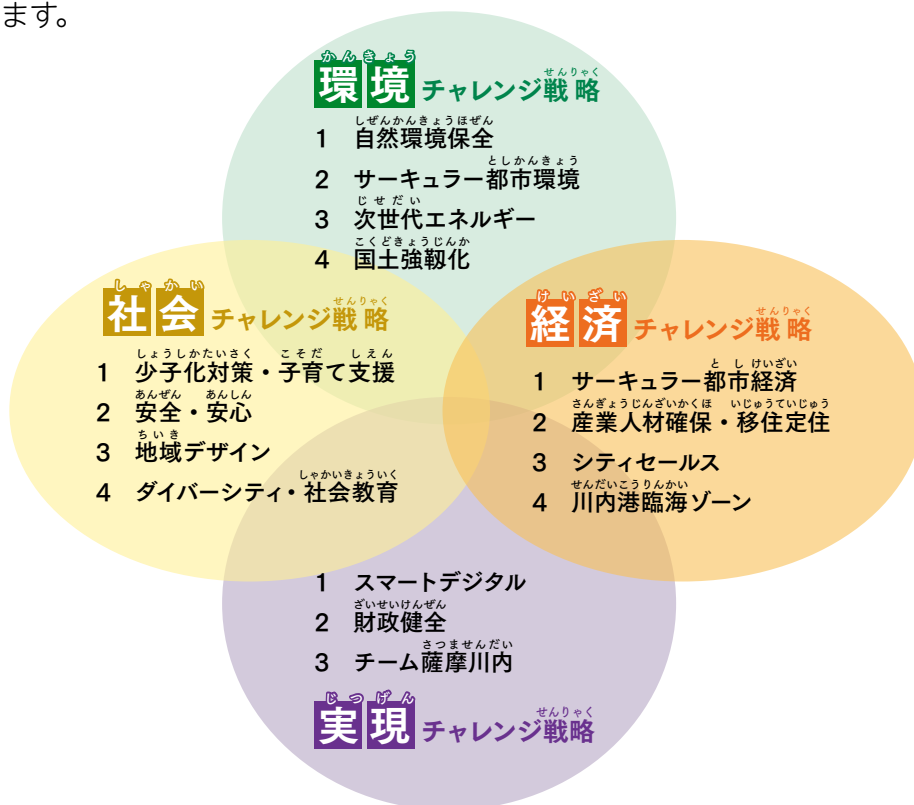
- ・安全で安心な水道水を安定して提供するとともに、生活で使った汚れた水をきれいに処理していきます。
- ・私たちの生活に欠かせない大切な水を守り続けるために、上下水道管などを新しく作ったり、古くなったものを修理したりします。

重点的に取り組むこと ～重点戦略プラン～



みんなが「心ゆたかな暮らし」ができるように、そして、「持続することができる社会・環境・経済」をつくるためには、それぞれの分野にとらわれずに、分野をまたがって取り組むことが必要です。

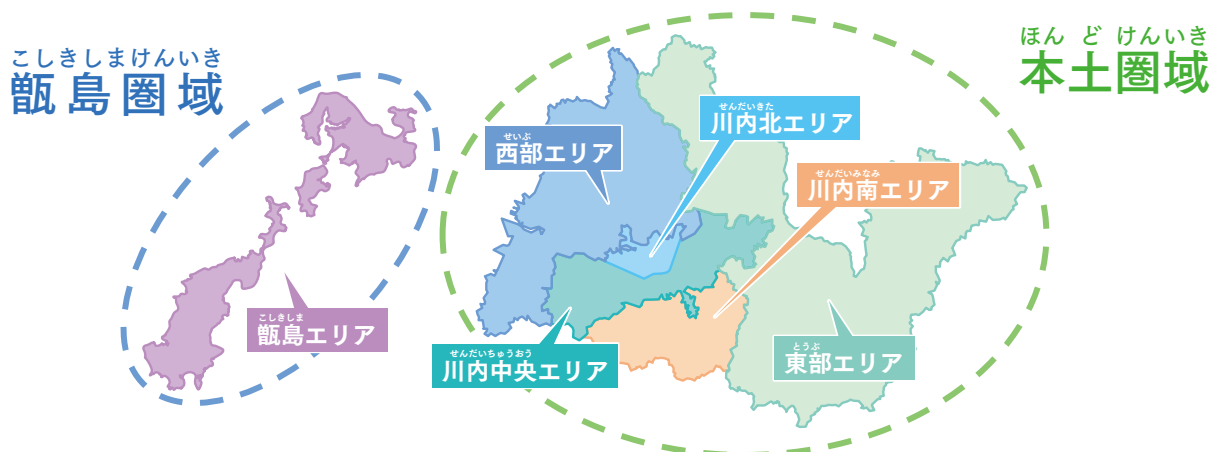
これから重点的に取り組むことを「重点戦略プラン」として4つ設定し、15のプロジェクトに取り組んでいきます。



エリアごとに取り組むこと ～ゾーニングビジョン～



みんなが住み慣れた地域に住み続けることができるよう、市を6つのエリアに分けて（「ゾーニング」といいます。）、それぞれの地域の個性・強みを活かした取り組みを進めていきます。





さつませんたい 2034ビジョン

第3次 薩摩川内市総合計画 前期基本計画

2025・2029

本書は、未来を担うみんなが、まちづくりへの興味や関心を高める
きっかけとなるように令和7年3月に作成しました。

編集・発行

薩摩川内市 未来政策部 企画政策課

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号

TEL 0996-23-5111

FAX 0996-20-5570

ホーム
ページ
さつませんたいし
(薩摩川内市)



facebook
さつませんたいし
(薩摩川内市)



X
さつませんたいし
(薩摩川内市)



Instagram
さつませんたいし
(薩摩川内市)



YouTube
さつませんたいし
(薩摩川内市)
チャンネル

